

# **「閾値下うつを有する人々に対する肯定的な言語刺激を提示する動画視聴介入 が抑うつ症状に与える影響」**

## **に関する説明書**

### **【研究目的】**

臨床的に重要な抑うつ症状の存在を放置するとうつ病などより重篤な精神疾患の発症につながる可能性があります。そのため、抑うつ症状を改善するための介入の開発は、非常に重要です。そのため、我々は抑うつ症状を改善するためのスマートフォン専用の動画視聴 Web サイトである Subliminal priming with supraliminal reward stimulation

(SPSRS) を開発しました。SPSRS は動画中に肯定的な言語刺激を表示することにより抑うつ症状の軽減を図るよう設計されており、YouTube のように好きな動画を検索および視聴することが可能です。もし、SPSRS が抑うつ症状に対して効果的であれば、安楽かつ楽しみながら皆様の精神的健康に寄与する新たな介入戦略の創出につながります。そこで今回、我々は SPSRS の効果を評価することを目的とした研究を計画しました。

### **【調査の流れ】**

この研究は介入開始から 5 週間行われます。介入を開始する前に気分に関する 3 種類のアンケートに答えていただきます。その後、「SPSRS を使用した動画視聴を行う」群と「動画視聴を行わない」群に無作為に分かれてもらいます。介入開始から 3 週間後（気分に関する 3 種類のアンケート）と 5 週間後にアンケート（気分に関する 4 種類のアンケート）

を行います。

### **【参加者】**

本研究の参加者の方はスマートフォンを有し、アンケートによって抑うつ症状の存在があると判断された 18 歳以上の方を対象にします。

### **【実施すること】**

「SPSRs を使用した動画視聴を行う」群の方は SPSRS を使用し 1 日 10 分間の動画視聴を 5 週間（合計 350 分）行う予定です。そのため、1 日 10 分間程度の時間的拘束が生まれます。視聴する動画は参加者の皆様が SPSRS 内でキーワード検索を行っていただき、好きな動画を選び視聴していただきます。

「動画視聴を行わない」群の方は 5 週間の期間、特別な介入はありません。もし、SPSRs を使用した動画視聴の希望がありましたら 5 週間後のアンケート回答後にご提供いたします。

### **【研究参加の任意性】**

この研究の参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。研究に参加しないことによる不利益は一切ありません。また、一度参加に同意された後でも同意を撤回すること

が可能です。

### 【調査における留意点】

今までの研究で SPRSR が気分不良等を引き起こすことは報告されていませんが、調査中に気分不良や精神的負担が発生した場合は速やかに中止します。また、現段階では発生した気分不良が SPRSR によるものか、または別の要因による物かは判断できないため本研究参加によって発生する気分不良等に対する保証はありません。可能であれば、3 週間後または 5 週間後のアンケートにご回答いただけたら幸いです。本研究で得られたデータは個人が特定されないように配慮したうえで、院内や学会、論文として発表させていただくことを合わせてご了解お願いします。

研究の趣旨をご理解いただきましたらご協力をお願いします。

また、ご質問やご意見がありましたら下記までご連絡ください。

研究に関する問い合わせ

研究代表者：打田 博行

社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 リハビリテーション部 作業療法科

Tel : 086-427-1111